



ガルフストリーム編集部主催 ロデオ写真コンテスト開催!



ガルフストリーム編集部(以下、編集部)では、以下の通り、ロデオの写真コンテストを開催致します。奮ってご応募ください。

募集テーマ: The Houston Livestock Show and Rodeo 2025で撮影されたテキサスらしさを表現した写真

応募資格: 商工会会員とその家族

結果発表: 入賞写真は、ガルフストリーム5月号誌面上にて発表

応募フォーマット: JPG, PIN, HEIC, PINGのファイルで500KB以上の画像
応募枚数: お一人様上限5枚まで。

提出方法: 撮影者の名前、所属会社名、写真に関する短いコメント/キャプション/題名をご記載の上、写真をメールに添付し、assist@jbahouston.org までお送りください。

〆切: 2025年3月31日(月)

賞: 入賞作品には、ギフトカードを授与致します。

金賞 100 \$ 相当ギフトカード

銀賞 50 \$ 相当ギフトカード

銅賞 30 \$ 相当ギフトカード



<審査および審査結果>

審査は、編集部が行います。

審査結果は、2025年5月号ガルフストリームにて発表し、入賞者宛てに通知します。審査の過程、内容及び結果に関するお問い合わせにはお答えできません。

詳細は[こちら](#)をご確認下さい。

ガルフストリーム

編集委員(ボランティア)募集



商工会刊行誌「ガルフストリーム」では、編集委員としてボランティアの方を募集します。

- 執筆者: 記事を執筆にご協力頂ける方
- 担当者: 記事の担当をして、執筆者と商工会事務局をつないで頂ける方
- レイアウト: ガルフストリームの誌面でレイアウトを担当して頂ける方

※レイアウトは、MS Publisher を使用しています。

Word/Power Point が使える方でしたら、すぐに習得可能です。

ご興味のある方は、事務局までご連絡ください。

jbahouston12651@gmail.com



ガルフストリーム編集委員の懇親会@Toy Story Ranch

リレー式

ヒューストン日記

第244回 池永 瑞貴 さん

こんにちは。夫の駐在でHoustonに来て1年半が過ぎました。新しい環境で駐在妻としての役割にやりがいを感じる一方、日本での仕事を辞めたことで、それまで得ていた達成感や役割が一掃され、アイデンティティが揺らぐ経験もしました。そうした中で、日本にいるコーチング仲間にも力を借りながら、自問自答を続けました。

特に、「何の制約もなければ、何をしている時に魂が喜ぶのか」。肩書きをそっと降ろした際に、自分はどうかりたいのか。その答えの一つが、「音楽を通じて人とつながり、感動を分かち合うこと」です。音楽は元々好きでしたが、仕事を始めてから演奏する機会が減っていました。渡米をきっかけにその機会を再び得られたのは、近所の教会で出会ったアメリカの友人のおかげです。

友人は、教会のchoirや日本人の音楽仲間を紹介してくれ、そのご縁から“Japanese Quintet COSMOS”を結成。3月に演奏会を開く運びとなりました。Instagramを開設し、発信も始めました。お子様も大歓迎で、日本語、英語の歌を演奏しますので、ぜひいらして頂けると嬉しいです。

Japanese Quintet Cosmos



◀COSMOSコンサートの詳細は
[こちら](#)より



また、教会では讃美歌を歌うchoirで歌っており、団員は総勢150名を超えます。来年に演奏旅行が予定されているので、それに向けて練習には熱が入っています。また、children's choirでピアノ伴奏を担当しています。PreKから5th gradeまでの子ども達は、生き生きとしていて、自己肯定感が高いと感じます。きっと、神様にとっての最高傑作(masterpiece)と言われて育っている所以でしょう。

更に、私自身も聖書を学ぶことで、人間関係や子育てに対する考え方が変わり、生きやすくなりました。中でも、聖書の「赦す」という考え方は特に気に入っています。他人に対して「許せない」と感じる状況でも、自分の力を超えて神様に委ねることで最善の道へ導かれるというものです。それにより、一人では到底なしえなかったことも、委ねあけ渡すことで、素晴らしい未来が用意されていると思えます。昨年からJapanese Bible Studyを新たに立ち上げ、毎週心が浄化されているように思います。

このように書いていると、少々スピリチュアルで根拠がないように思われるかもしれませんが。余談ですが、当方、前職はエビデンスが重視される分野が専門だったため、昔の私であれば心に響いていなかったかもしれません。しかし、聖書の言葉は、終始一貫していることがわかります。まさに、北極星がゆるぎなく同じ場所で光り輝き、進むべき方角へと導くための道標となっているように。

Houstonで私が自分らしくいられているのは、紛れもなく音楽という世界共通言語で通じ合える仲間に出会えた事と、御言葉で繋がり、隣人を自分自身のように愛する仲間に出会えたからです。皆様のHouston生活が、実り多きギフトとなりますように。



▲所属するTallowood Baptist ChurchのchoirとChildren's choirとの共演